

服から服をつくる衣類のサーキュラー・エコノミーへの取組事例

- 回収スキームの開発や衣服リサイクル技術の進化を通じて、回収～リサイクル～製造の循環を達成

日本環境設計株式会社における事例

取組概要

服から服をつくる“BRING”

- BRINGは、服から服をつくるサーキュラー・エコノミーを実現するブランド
- 複数アパレル企業等と連携して、古着回収を実施
- 回収した衣類のうちポリエステル（衣類の6割を占める素材）は衣類にリサイクル、その他素材はカスケードリサイクル（異なる製品または品質の低下した製品にリサイクル）
- 回収した衣類は化学分解処理により再生原料として活用
- 衣類リサイクル技術は同社の特許技術であり、商用工場への導入は世界でも先進的と言える
- フランス国営企業と業務提携を結び、今後、技術ライセンスを世界中に提供



効果

- 服の回収から新しい衣類を作る衣類の循環を実現
- 昨年12月までに1万5,000着を販売、今期12万着を販売

企業名



日本環境設計株式会社

設立年

2007年

売上高

非公開

企業概要

- 衣類やプラスチック等のリサイクルした衣類を生産・販売するアパレルメーカー
- 服の回収からリサイクル、再生素材を使った洋服の販売までを行うブランド「BRING」を提供